

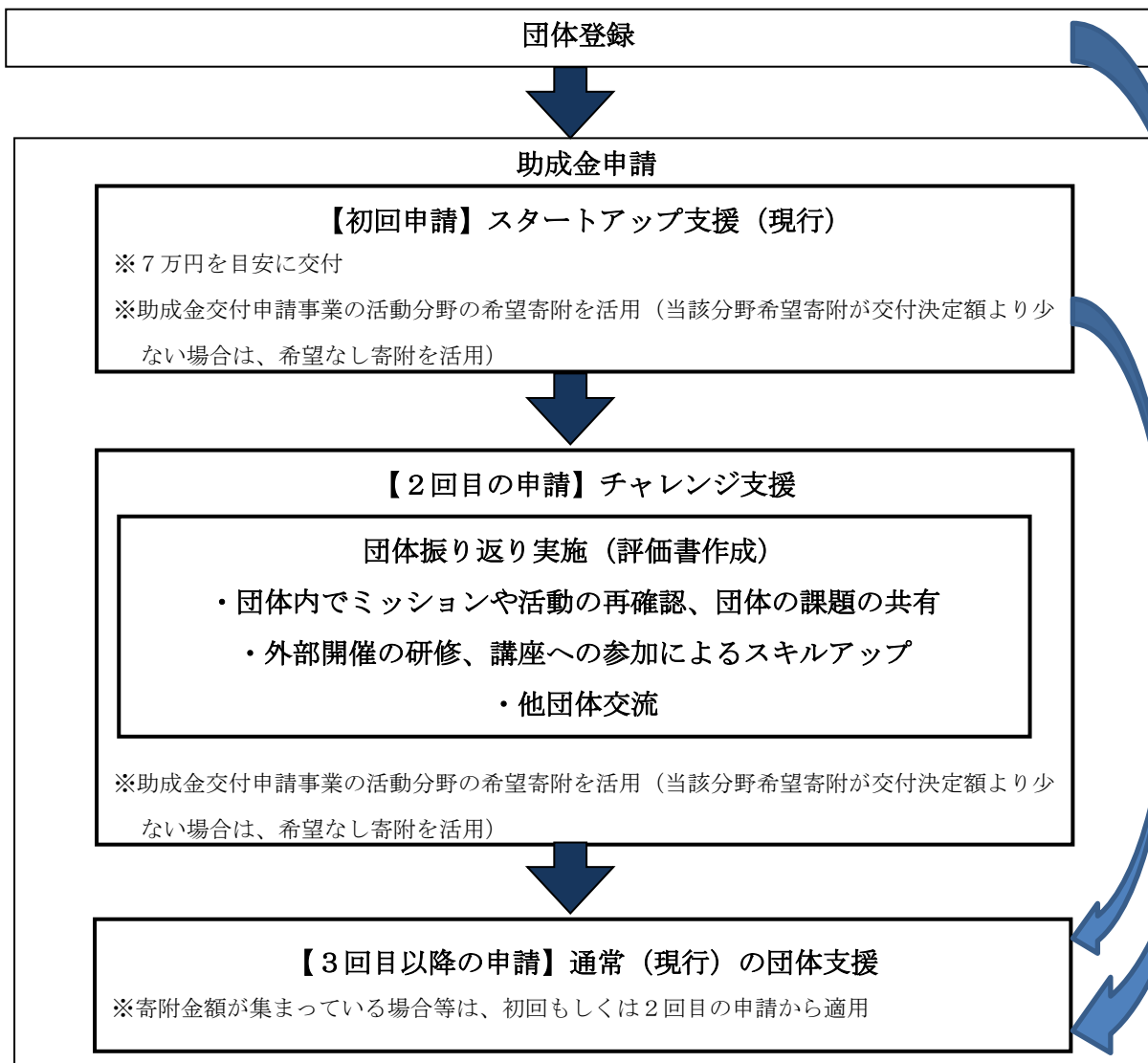
よこはま夢ファンドの寄附の新たな活用（チャレンジ支援）について

1 概要

よこはま夢ファンドの新たな活用の1つとして、寄附が集まらない登録団体が自己評価等を実施し、助成金を申請することができる「チャレンジ支援」について、昨年度から横浜市市民活動運営支援事業部会（以下「部会」という。）及び横浜市市民協働推進委員会（以下「委員会」という。）にて協議を行っていただきました。その結果、団体の運営基盤強化を目的とし、寄附金集めが上手くできていない団体を対象とした、「チャレンジ支援」を実施することについて了承が得られました。よって、平成26年度は「チャレンジ支援」の具体的な手法について、協議を進めていきたいと考えています。

2 よこはま夢ファンドの助成金申請の流れ

チャレンジ支援を実施した際の助成金申請の基本的な流れについて、次の通り考えています。



3 協議事項について

次回の部会及び委員会にて、チャレンジ支援の募集要項の審議を行うにあたって、本日の委員会にて募集要項の軸となる次の1～2について、協議をお願いしたいと考えています。

【協議事項1】 交付額の目安及び年間上限事業（団体）数について

- ・ 交付金額の目安をいくらとするか。（年間予算額：150万円程度）※別紙：参考資料

【部会での協議結果】 1事業あたり30万円を目安とする。（年間交付件数：5件程度）

※部会での意見

- ・ 例えば、スタートアップ支援と同じ7万円を目安としてしまうと、申請に手間がかかる割に交付金額が少額で、団体にとって魅力が少なく、応募がないのではないかと。
- ・ 区の助成金事業でも10万円程度までの案件はあり、事業申請や報告の際の提出物の内容も本事業と比べて簡易的なことであることが多い。そのため、30万円位の金額でないと団体にとって魅力がないのではないかと。

【協議事項2】 申請するにあたっての団体振り返りの方法について

- ・ 振り返りの方法について

【事務局案】 団体振り返り書（次頁参照）を用い、振り返りを行う。なお、振り返りを行う際は、団体の外部の人にファシリテートを依頼することで、第三者の視点も入れた振り返りを実施する。ファシリテーターの依頼方法としては、①団体が独自にファシリテーターを探して依頼する、②よこはま夢ファンドの「専門アドバイザー派遣事業」を活用する。①、②のどちらの方法をとるかは団体側で選択できるものとする。

※専門アドバイザー派遣事業・・・団体の課題解決の支援を目的とし、同一団体に対し3回までのアドバイザー派遣が可能。団体負担額は1回目：5千円、2回目：7千円、3回目：1万円。

※部会での意見

- ・ 団体に対し、ファシリテーターが継続的な支援をできると良いのではないかと。
- ・ ファシリテートの中身が重要であると思う。

4 チャレンジ支援の実施に向けた今年度のスケジュール（予定）

平成26年5月15日 部会にて、チャレンジ支援の概要について協議

6月9日 委員会にて、チャレンジ支援の概要について協議

（9月19日 委員会にて、チャレンジ支援の概要について協議）

10月17日 部会にて、チャレンジ支援の募集要項について審議

11月頃 委員会にて、チャレンジ支援の募集要項について審議

12月頃 チャレンジ支援の募集要項を登録団体に配布

平成27年 第2回（もしくは第3回）横浜市市民活動推進ファンド助成金交付募集の際に、チャレンジ支援の申請受付

部会及び委員会にて、平成27年度チャレンジ支援の申請審議

※平成28年度以降のチャレンジ支援については、第1回横浜市市民活動推進ファンド助成金交付募集（前年度2月）の際に申請受付を行う予定。

団体振り返り書 (案)

1 事業実施・継続に向けた具体的な取組について

助成金・補助金の確保の見込み	助成金・補助金名	
	交付先	
	交付金額	
寄附金確保の具体的方策及び収集見込額	方策	
	収集見込額	円 (年 月 日時点)
有料事業の見込み	実施する事業	
	収益見込額	円 (年 月 日時点)

2 団体内でのミッション・活動の振り返り、課題共有の実施

実施日	年 月 日
参加者	名
振り返った内容 (団体の強み、弱み等)	
今後の課題	

3 団体のスキルアップに向けた、外部開催の研修・講座への参加

参加日	年 月 日
研修・講座名	
主催者	
参加者	名
学んだ内容	

4 団体の課題解決に向けた、他団体との交流の実施

時期	
交流団体名	
学んだ内容	

【別紙資料】よこはま夢ファンドの寄附の新たな活用（チャレンジ支援）について
～年間予算参考資料～

1 現在の活用可能額について

よこはま夢ファンドの「チャレンジ支援」では、よこはま夢ファンドの活動分野希望寄附・希望なし寄附を活用する予定です。平成26年3月31日時点での活用可能金額は次の通りです。

希望なし・分野希望寄附	活用可能額(円)
希望なし	9,119,808
保健・福祉・子ども	10,464,010
まちづくり・環境	1,845,735
文化・スポーツ	912,100
国際・人権・平和	1,600
経済・観光振興	28,333
合計	22,371,586

2 チャレンジ支援実施後の活動分野希望寄附・希望なし寄附活用の年間予算額について

チャレンジ支援実施後（平成27年度予定）は、活動分野希望寄附・希望なし寄附を、年間を通し次の通り活用していく予定です。

	見込額(円)
運営支援講座等 ※平成26年度予算額より算出	750,000
横浜市市民活動支援専門アドバイザー派遣 ※平成26年度予算額より算出	450,000
助成金交付(スタートアップ支援・通常の団体支援) ※平成24年度(約30万円)・平成25年度(約67万円)実績から予測	500,000
助成金交付(チャレンジ支援)	1,500,000
合計	3,200,000